

令和6年度第1回印西市学校適正配置審議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年2月5日（水）10時00分～11時40分
- 2 開催場所 印西市役所4階 41会議室
- 3 出席者 井上 愛一郎 委員、桜井 繁光 委員、内田 圭子 委員、
押田 香代子 委員、渡邊 信 委員
- 4 欠席者 1名
- 5 事務局 渡邊教育長、三門教育部長、鈴木教育総務課長、加藤学務課長、
秋山課長補佐、斉藤副参事、小名木係長、飯高主査
- 6 傍聴者 1名
- 7 議事 (1) 市内小・中学校の現状について
(2) その他（報告事項）
 - ①印西市立西の原中学校、船穂中学校、西の原小学校及び高花小学校の通学区域の変更について
 - ②原小学校区における通学区域制度の弾力的運用に伴う学校見学会の結果について
 - ③原小学校過大規模校化対策に関する意見交換会の結果について
- 8 議事録（要点筆記）

事務局 本日はご多用のところ、当審議会の会議にお集まりをいただきまして、誠にありがとうございます。

会議に先立ちまして、何点かご説明とご報告をさせていただきます。

まず、配付資料の確認をさせていただきます。

会議次第、席次表、資料1から資料10までとなっておりますが、不足はありませんでしょうか。

<不足なし>

事務局 次に、会議の公開と傍聴についてでございますが、当審議会につきましては、印西市市民参加条例第11条第4項の規定により、原則公開とさせていただきます。

また、傍聴につきましては、同条例施行規則第12条第3項の規定に基づき、事務局が作成した傍聴要領に沿って受付しておりますことをご報告いたします。

なお、現時点での傍聴者は1名でございますが、会議途中で傍聴の希望があった場合は、随時入室を許可したいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

次に、会議の録音及び会議録の署名についてでございます。

当審議会の会議につきましては、会議録を作成する都合上、録音させていただきます。

また、会議録の署名につきましては、毎回2名の委員の方をお願いしておりますが、本日は、桜井委員と渡邊委員をお願いいたします。

なお、会議録につきましては、ご署名いただいた後、市役所の行政資料室への設置やホームページへの掲載により公表いたします。

会議録の公表にあたりましては、発言者の氏名を伏して行いますことを申し添えます。

それでは只今より、令和6年度第1回印西市学校適正配置審議会を開催いたします。

はじめに、会議の開催について、ご説明とご報告をさせていただきます。

印西市学校適正配置審議会設置条例第7条第2項において、審議会の会議は、委員の過半数の出席がなければ開くことができないと規定されております。

本日の出席委員は、6名中5名でございますので、同条例の規定に基づく定足数に達しておりますことから、ここに会議が成立いたしますことをご報告させていただきます。

続きまして、委員の変更につきまして、ご報告いたします。

中学校の代表として就任されていらっしゃいました渡邊義規校長先生が印西中学校を退職されましたことから、渡邊信校長先生が委員として就任されることとなりました。

渡邊校長、ご挨拶をお願いいたします。

委員 今日は少し緊張してきましたのですが、委員の皆様のお顔を拝見してリラックスできるメンバーで安心しました。

どうぞよろしく願いいたします。滝野中学校で勤務しております。

事務局 それでは、会議次第に従い、会議を進めてまいります。
次第の2、教育長あいさつ、渡邊教育長よりご挨拶を申し上げます。

教育長 皆さん、おはようございます。

今日は第1回で、この時期になってしまい申し訳なかったのですが、委員の皆様方には、ご出席下さいまして誠にありがとうございます。

また、市教育行政に格別のご理解とご協力をいただきたくお願い申し上げます。

本審議会は、事務局には何人か新しい顔も入っていると思いますが、このメンバーで仕事を進めてまいりました。

昨年度は、皆様のご尽力により、第2次学校適正規模適正配置基本方針を策定することができました。ありがとうございます。

今回の審議会から、この第2次基本方針に沿って進捗管理をしていくことになります。

この後、事務局から市内小中学校の現状について説明いたしますので、委員の皆様からは、忌憚のないご意見等頂戴したいと考えております。

どうぞよろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございました。

続きまして、次第3会長挨拶、井上会長よりご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

会長 おはようございます。

 前回の開催から約1年ぶりとの開催となりました。

 前回の審議会は、体調を崩し欠席させていただいて、内田副会長には、ご苦勞をかけました。健康には自信を持っていたのですが、それが単なる根拠のない自信であったということを改めて思い知らされたところです。

 ここの1年間で、市教育委員会や小中学校を取り巻く環境も大きく変わったと聞いております。その変化などを踏まえて今日の審議会の開催に至ったのではないかと考えております。

 本日は、議題も何点か用意されておりますので、委員の皆さんにはいつものとおり忌憚のないご意見を頂戴できればと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

事務局 ありがとうございました。

 それでは、早速議事に入りたいと思います。ここから先の進行は井上議長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

会長 議事1、「市内小中学校の現状について」を議題とします。

 事務局により説明をお願いします。

事務局 【資料1から資料7に基づき説明】

議長 只今、事務局から説明がありましたが、ご質問・ご意見、感想でも構いませんので、お出しいただければと思います。

委員 小規模校と大規模校の差が出てきてしまって、数年後には旧市街の学校がほ

ば小規模校になってしまい、二極化が進んでしまうことを感じました。

議長 ありがとうございました。
他にありますか。

委員 船穂小学校の児童数について、令和6年度から令和7年度に児童数が倍に増えるのですが、小規模特認校制度を利用する児童が増えて、学校経営はどのような対応を取っていくのだろと思っています。
本埜中学校は、令和6年度に本埜小学校から入学する生徒がいないというところで去年の審議会は終わったのですが、小規模特認校制度利用者のみの入学であったのかお聞きします。

事務局 船穂小学校は、小規模であることを理由に高花小学校へ通学をされる方が多くおります。令和7年度の推計では、97名、6クラスですが、令和7年4月1日の児童数の見込みは、53名でございます。
この推計は、船穂小学校区内の子どもの人数ですので、学区外就学や私立学校への就学を考慮したものではありません。
また、本埜中学校の現1年生は、全て小規模特認校制度利用者となっております。

議長 他にありますか。

委員 本埜中学校は学区外から通学する生徒だけの学校になるので、地域の学校をどのように捉えて考えていったらいいのか、新しい課題になると改めて思いました。

会長 ありがとうございました。
他にありますか。

委員 木下小学校区で牧の原小学校への学区外就学が多い地区があったと思いますが、その地区の状況はどのようになっているのでしょうか。

事務局 宗甫地区だと思われませんが、40戸連たんによる開発で住宅が建築されてきております。目の前の牧の原小学校に通学させたい保護者が多いのですが、牧の原小学校では宗甫地区の児童を受け入れる余裕はありませんので、木下小学校までスクールバスを運行している現状でございます。

議長 他にありますか。

委員 滝野小学校には増築する余地があるとは聞いていますが、滝野中学校はギリギリの状態で、どうなっていくのか心配な気持ちはあります。

また、過去に勤務していた西の原中学校の生徒数は、当時500名程度だったのですが、令和12年度にはその倍以上という推計になっていて、小規模校との二極化が激しく、いろいろなことを改めて考えさせられました。この時の先生方や関わる方々が大変になると思います。

将来的な対応案などがあれば安心できると思います。

事務局 滝野小学校と滝野中学校は、特殊な構造で、一体的に教室を使うことができます。

滝野小学校の増築計画は、今のところございません。

議長 他にありますか。

本埜中学校の新1年生で小規模特認校制度を利用される生徒は、どの学区から来られているのか、その動きを知ることができればと思いますが、内訳を教えてくださいませんか。

事務局 西の原中、滝野中、木刈中、印西中学区の生徒となり、西の原中が4名、滝野中が3名、木刈中、印西中1名ずつという内訳です。大きい規模の学校からが大半となっております。

議長 ありがとうございます。
他にありますか。

委員 配布資料に、小規模特認校制度利用者の人数が記載されていると評価しやすいので、次回以降は、そこまでの記載をお願いいたします。

議長 今後、資料作成の際には今のご意見も踏まえて作成をお願いいたします。
他によろしいでしょうか。

<意見なし>

議長 議事2、その他の報告事項1「印西市立西の原中学校、船穂中学校、西の原小学校及び高花小学校の通学区域の変更について」を議題とします。
事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料 8 に基づき説明】

議長 只今、事務局から説明がありましたが、ご質問・ご意見等はございますか。

＜意見なし＞

議長 報告事項②「学校区における通学域制度の弾力的運用に伴う学校見学会の結果について」を議題とします。

事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料 9 に基づき説明】

議長 ご質問、ご意見があればお願いします。

＜意見なし＞

議長 報告事項③「原小学校大規模校対策に関する意見交換会の結果について」を議題とします。

事務局より説明をお願いします。

事務局 【資料 10 に基づき説明】

議長 ご質問、ご意見等があれば、お願いしたいと思います。

委員 感想ですが、新執行部発足により、これまでの対応から方針が大きく変更されたことに驚きました。

民間企業でもトップが変われば当然それまでの方針の変更はあり得ますが、今までは、予算がない、取得する大きい土地がない、期限もないと市からは回答されており、それが駄目であればということで、増築や通学区域の弾力的運用について検討してきました。市長が変わり、方針が 180 度転換したことに対し、学校のことを簡単に変えていいのかという感想を抱いております。

原小学校の分離新設に関しては、総合教育会議を含めてだいたい議論されたと思いますが、15 年から 20 年間の時限を切るとなると、建物の構造体は、プレハブ的なものを考えていますか。

事務局 一般的に学校を新設する場合の構造は、鉄筋コンクリートとなります。
今回は、15 年ないし 20 年後、原則、原小学校に戻ることであります。

ので、各小学校の増築棟のような重量鉄骨造の校舎を建築することを考えております。重量鉄骨造の建物は、おおむね40年程度は使用可能となりますので、仮に児童数が予測より減少しない場合にあっては、そのまま引き続き使えるような構造になっております。

また、外見上は鉄筋コンクリート造と遜色ないような仕上がりで、室内もしっかりとした構造になっておりますので、児童・生徒に影響がないと考えております。

議長 他にありますか。

委員 当日は、新設等の時限的な方向性が署名活動などで覆ることがないようにとの質問がありましたが、署名活動とはこういったものが想定されますか。

事務局 市で考えている15年から20年の時限措置が、例えば、保護者の署名活動などにより恒久的な施設にならないようにという意見で、保護者から小規模になった場合は、元に戻れるようにといったお願いをしたいと意見をいただいたものです。

議長 他にありますか。

委員 この会議でも原小学校の過大規模校化について誰もいいとは思っていませんでした。用地がない中で工夫してきましたが、市長が変わられて方針変更したことに、住民としてはほっとしている部分もあると思います。

最善の知恵を絞って新しいものに向かっていきたいと思います。

ただ、その後ろには牧の原小学校の児童数の増加などが迫ってきて、その時はどうするかも頭に入れながら、次に向けての知恵を絞っていき、総合的に見ていながら研究していく必要があると思います。

議長 ありがとうございました。
他にありますか。

委員 職員アンケートの結果、職員の4分の1が分離新設は必要と回答されていますが、残りの4分の3の職員は特に必要ないという意見であったとの理解でよろしいですか。

事務局 職員アンケートは、保護者の有志の方が取られたアンケートでした。
職員70名にアンケートを配布し、回答ありが25名で、45名が回答な

し、回答率は35.7パーセントでした。

アンケート配布した70名の職員のうち、18名の職員が分離新設は必要との回答結果であり、その割合が全体の4分の1となっており、4分の3の方は、ほぼ未回答となっております。

議長 他にありますか。

委員 小規模特認校へのスクールバスの運行についての質問に対する回答で、別の手段で対応が可能か検討しているとありますが、この別の手段とはどのようなことを検討されていますか。

事務局 市で運行しているふれあいバスの経路や時刻について見直しを検討しております。従前から小規模特認校と使えるように申し入れています。改めて、この意見等も踏まえて強く申し入れをしているということでございます。

委員 学校の始業時間とふれあいバスの運行時刻は合っているのでしょうか。

事務局 船穂小学校では、時刻改定により、バスの到着が始業時間から5分ほど遅れますが、バス利用者は遅刻扱いにしないなどの学校の運用で対応しているということでした。

本埜中学校は、本埜支所がふれあいバスの停留所となっております。

委員 そこまで利用可能だったら、通学者も増えるような気がします。

議長 他にありますか。

委員 船穂小学校と本埜中学校の令和7年度の入学見込みで、何名の方が小規模特認校制度を利用されていますか。

事務局 船穂小学校の新入学生8名のうち3名が小規模特認校制度を利用した入学見込みで、本埜中学校については、11名の新入学見込みの生徒のうち、9名が小規模特認校制度利用者希望者です。2名は、本埜小学校からの入学者見込みとなります。

議長 他によろしいでしょうか

委員 資料には、主な検討論点として5点挙げられていますが、この他に、費用

面が1番気になると思います。子どものことを考えると、当然新設したほうがいいと思いますが、土地の取得費や建設費も主な論点になると思います。

税金をどの程度投入して学校を建設するということを一般市民にもわかるようにしたら、全員が手を挙げて賛成とはならないと思います。

教育費の中で費用を捻出していくとなると、増加していく小規模校に予算を充てられず、廃校や統合をしなくてはいけない状況になることを心配しています。

費用面もイメージしてもらいたいと思いますが、皆さんのご意見はいかがですか。

委員 費用面を抜きにして進めていくことはあり得ないことなので、提案資料などがこれから出てくると思います。

大規模校と小規模校も同時進行でバランスよく対応していかないとはいけません。

議長 ありがとうございます。事務局からはありますか。

事務局 費用面は大変重要なファクターだと思っており、資料に費用面を記載するか否か、議論としては上がっておりました。

2点ほど記載しなかった理由がございます。

1点目としては、本当に純粋にこの学校が必要なのかどうかを見極めたかったということがあります。

2点目といたしまして、物価高騰で建設コストがかなり上がっております。費用を出すことにより、それが先行してしまうことで別の議論になる可能性があることであえて記載しませんでした。

費用につきましては、令和7年度から令和8年度にかけて、基本設計及び実施設計を行いますので、この業務で明確に出てくることになります。その後、設計計画についてご意見を頂くことになります。

議長 他にありますか。

委員 流山市の学校を参考にすることや、分離新設ができなかった場合の対応として、歩道橋の新設要望がありましたが、現時点での対応策はどのように考えていますか。

事務局 流山市の1,600人規模の小学校の教育活動を見てきて、見習っていきたい部分が多くありました。大規模校の校長先生と連携を取り、様々な工夫をしな

がら教育活動を進めていきたいと考えております。

また、分離新設を進めていく過程で、難しくなった場合には、原小学校の第2校庭へ県道を横断する歩道橋の設置を含めて対応を考えていきたいと思
います。

議長 他にありますか。

委員 教育、子育てで世界一の町を目指したいという市長公約からも、分離新設校の整備はいい機会です。過大規模校の児童を平準化するためではなく、全く新しい形の学校として、小中一貫校として整備することで西の原中学校の過大規模校化の対応にもつながると思います。

NEXT GIGAスクールや校務DXの実現などのデジタル教育や魅力のあることを学べるなどの特徴ある教育をコンセプトにすることを提案させていただきたい。従来どおりの学校教育だけではなくプラスアルファで、その学校だったら親が送迎しても行かせたいと思われるような学校を目指してほしいと思います。

議長 ご提案ありがとうございます。非常に意味のある提言を頂きましたので、今後、市で方針を決める際やこの場でも検討の1つとしていきたいと思
いますので、よろしくお願いします。

他によろしいでしょうか。

<意見なし>

議長 それでは、本日の議題につきましては、全て終了しました。
進行を事務局にお返しします。

事務局 ありがとうございました。
続きまして、次第の4、その他に入らせていただきます。
事務局から、連絡事項等がございますので、よろしくお願いします。

<次回の会議日程及び委員報酬について説明>

事務局 事務局からの連絡事項等は以上でございます。
その他ということで、委員の皆様からは何かございますか。

<なし>

事務局 それでは、以上をもちまして令和6年度第1回印西市学校適正配置審議会を終了させていただきます。

長時間にわたり、ありがとうございました。

会議資料

・会議次第

- ・資料1 印西市立小・中学校の通学区域
- ・資料2 印西市立小・中学校の通学区域図（令和6年4月現在）
- ・資料3 印西市立小・中学校の児童生徒数及び学級数
- ・資料4 印西市立小・中学校の児童生徒数及び学級数の現状と推移（令和6年5月1日現在）
- ・資料5 印西市立小中学校の児童生徒数及び学級数の現状と推移（令和6年5月1日現在）
- ・資料6 印西市学校適正規模・適正配置基本方針における検討対象校の取り組み状況
- ・資料7 印西市立小・中学校の通学区域図（令和6年4月現在）
- ・資料8 西の原中学校、船穂中学校、西の原小学校及び高花小学校の通学区域の変更について（お知らせ）
- ・資料9 通学区域制度の弾力的運用に関する学校見学会の概要について（お知らせ）
- ・資料10 原小学校過大規模校対策に関する意見交換会結果について（お知らせ）

令和6年度第1回印西市学校適正配置審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和7年2月26日

委 員 桜井 繁光

委 員 渡邊 信